



No Book No Life

No.8 / 2021年12月

2021年度2学期の多読者は 3-4 立野 寛さんでした！

* 借りた本の多くが漫画本の生徒は除外しています。

* この集計は2021年11月30日付のものです。

2021年度2学期に最も多くの本を読んだのは1学期に引き続き立野寛さんでした！
受験勉強が本格化してなかなか時間が作れない中でも、本を読み続けていることは本当に素晴らしいと思います。

今回は読書量2位の1-6 吉田陸空さんと、3位の1-2 畔上晃太郎さんにおすすめの本などを教えてもらいました。

☆☆吉田さんのおすすめ本☆☆

『図書館の魔女』

《ここがおすすめ！》

深く作り込まれた物語の世界観に引き込まれる。長く楽しめる一冊。

《好きな本のジャンルは何ですか？》

ジャンル関係なく、全般的に好きです。

《どうして多くの本を読むのですか？》

本を読むことが楽しく、習慣化しているからです。



☆☆畔上さんのおすすめ本☆☆

『「過剰反応」社会の悪夢』

《ここがおすすめ！》

身近な社会現象を新たな視点で論じている点が面白い。

《好きな本のジャンルは何ですか？》

哲学、心理学系です。

《どうして多くの本を読むのですか？》

本を読むことで新たな知識を得られるからです。



<特集> 図書館の本はどこから来ているの？

皆さんは図書館を訪れる中で、ふと手に取った本がどのように選ばれてこの図書館に所蔵されたのか疑問を持ったことはないだろうか？

ということで、今回は、図書館の司書さんである角田先生に、図書館の本はどのように選ばれているのかなどについてインタビューを行いました。

Q、「図書館の本はどのようにして選ばれているのでしょうか？」

A、「生徒や教師の推薦から書評本や新聞の広告など様々ものを参考にして、候補を何冊か選びます。その候補を北爪先生を筆頭とした図書課の先生に確認していただき、最終的には学校長の許可を得て購入をしています。」

Q、「どのぐらいの頻度で新刊を購入しているのでしょうか？」

A、「年に300冊ほどを購入しています。」

Q、「どんなジャンルの本をよく購入しているのでしょうか？」

A、「日本十進分類表*1分けられたジャンルすべてを全般的に購入をしています。ですが、5類（技術・工業・家庭）と6類（産業）は高崎高校が普通科ということもあり、あまり購入をしていません。」



Q、「本はどれほど古くなったら処分されるのでしょうか？」

A、「処分については群馬県高校図書館運営マニュアルを参考にしていて、基本的には購入した本の発行版の年から20年*2です。しかし、完全に捨てる前に、図書課の先生を主とする教職員や学校長から確認を取っています。」



← 図書室に入ってすぐ右に設置してあるリクエスト投票箱。図書室に追加してほしい本があれば投函してほしい。

*1 日本十分類法・・・日本図書協会分類委員会が規定する大きく0～9類に分ける図書分類法

*2 地理系統の本は10年、特に地図帳は5年で処分